

『スズメバチ』・『マダニ』に注意！

スズメバチに刺されないために

スズメバチは春先から秋（9月がピーク）にかけて多く発生します。刺されないために、次のことを注意してください。

- きずなの森（裏山）、米の山、若杉山、樹芸の森に入るときは、白っぽい服装にする
- 帽子をかぶる、首のまわりにタオルを巻くなど首や顔・頭を保護する
- きつい香水はつけない
- スズメバチが飛んできたら、騒がずにしゃがんで体勢を低くし、飛び去るのを待ち、速やかにその場を離れる
- コースを外れてしげみに入らない（どこに巣があるか分からぬ）

スズメバチに刺されたときの対応

- ① 針が残っていれば抜く
- ② 水で刺傷部のまわりを洗い流す
- ③ 保冷剤や氷で冷却する
- ④ 刺傷部の軽い腫脹や発赤程度であれば、各団体で病院へ連れて行く



最寄の病院：篠栗病院（092-947-0711）／篠栗町大字尾仲94

* ただし下記の症状が見られたら、救急車を要請してください！

アナフィラキシーショック

- 意識消失
- 呼吸困難
- 血圧低下（脈が低い）

人工呼吸と心臓マッサージ実施
(AEDは第1事務室にあります)

— 以下の症状も上記の症状へ移行する可能性があり、注意が必要です —

- 全身に蕁麻疹や浮腫（むくみ）が見られる
- 激しい下痢、嘔吐、頭痛

→ 以前にスズメバチに刺されたことがある人、アレルギー体质の人は 1 時間以内（早ければ 10 分以内）に上記の症状が出現することが多い。

また、このような症状が出た場合には、自力歩行せずに
早急に医療機関へ搬送してください。

- ⑤ スズメバチ以外で、ミツバチなどの毒性の少ない小さなハチに刺された場合は、職員に伝え、保健室で処置を受ける

マダニによる感染症の注意点

- 森林や草むらなど、マダニが多い場所で活動する際には虫除けスプレーを使いましょう。また、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、なるべく肌の露出を少なくしましょう。
- 活動中、体や衣服にマダニが付着していないか確認しましょう。
- 吸血中のマダニに気がついたら自分で取らずに受診しましょう。
- 森林や草むらなどで活動後、発熱や下痢、嘔吐などの症状が現れたら、病院で受診しましょう。

